

議会だより

令和4年5月1日発行
(年4回)



6月定例会市議会の予定

日程	内容
6月 6日(月)	開会
6月10日(金)	一般質問
6月13日(月)	一般質問
6月14日(火)	一般質問
6月15日(水)	一般質問・質疑
6月16日(木)	委員会
6月17日(金)	委員会
6月20日(月)	委員会
6月24日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集①	取手市議会とのオンライン研修会を開催	2ページ
特集②	市庁舎 防災/避難訓練に参加	3ページ
主な内容	2月定例会市議会	4ページ
	一般質問	6ページ
	委員会活動報告	13ページ
	復興に向けて・その軌跡(vol. 12)	16ページ

取手市オンライン視察

議員研修会



総社市議会 公式フェイスブック

パソコンやスマホの普及はもとより、生活のあらゆる場面でデジタル化が進む昨今、総社市議会も合理化や省資源化の観点からデジタル化を進めていきます。そのためのオンライン研修会を全議員参加で開催いたしました。



↑ ZOOMを利用して取手市議会をオンライン視察
↓ メイン会場ではプロジェクターで画面を映し出し研修を実施



2月8日(火)に総社市役所会議室にて、議員研修会を行いました。議会のデジタル化先進地である茨城県取手市議会をオンラインで視察するとうい、総社市議会にとって初となる試みです。取手市からは、齋藤久代議長(当時)を始めとする取手市議会議員と議事事務局職員の皆さん、総社市からは、全議員と議事事務局職員がそれぞれ参加しました。

取手市議会では、一昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンラインによる議会運営を模索し、現在は各種会議の開催や委員会表決等をオンラインで行えるよう制度を整備しています。さらにオンラインや360度カメラを用いた視察、資料のペーパーレス化、音声認識システムによる会議録の自

動作成など、多岐にわたるデジタルを活用した合理化を進めています。

当日は市役所会議室をメイン会場に、数名の議員は自宅などからオンラインで参加、実際にモニター越しの会議を体験しながら、これまでの経緯や事例をお聞きしました。また、質疑応答・意見交換も活発に行われ、導入するにあたっての課題や問題点についても学ぶことができました。

総社市議会は今後、会議・業務の合理化や経費節減、環境問題などを考慮しデジタル化を進めていきます。

あわせて、総社市ホームページでの情報公開に加え、今年度より公式フェイスブックページの運用を開始しました。より身近になった総社市議会を、これからもよろしくお願いたします。

(荒木将之介)

日頃の災害に備えて
議場にて避難訓練を実施しました



議場内でのシェイクアウト訓練の様子

2月22日(火)に総社市庁舎避難訓練が行われました。総社市議会も本会議中に高知県沖を震源とするM8.2の地震発生を想定した訓練に緊張感を持って参加しました。

13時30分。緊急地震速報が入ったのを想定し訓練はスタート。

即座に議長から「直ちに本会議を中断します。各自、身の安全を確保してください。」とアナウンスがあり、議員全員が身を守る3つの基本行動(まず低く・頭を守り・揺れが収まるまで動かない)をとりシェイクアウト訓練を実践しました。

その後、事務局のアナウンスのもと、市民会館カミガツジプラザまで市職員と共に徒歩で避難し、中学校区ごとに別れLINEを使っただけの安否確認のテストを行いました。



議場からカミガツジプラザへ避難

避難場所では総社市が本番さながらに災害対策本部運営訓練や感染症対策を徹底しながらの緊急避難所開設訓練(テント村・ペット避難所・救護所開設)を展開し、また庁舎では消防署が、はしご車・救助工作車・ドローンなどを使った救助救出訓練を行い、それらを見学しました。南海トラフ地震発生が危惧されるなか、日ごろからの備えや繰り返し訓練の重要性を議員一同身をもって再認識しました。

(小野耕作)



災害対策本部運営訓練



庁舎での災害救助訓練



避難テント設置訓練

令和4年度の一般会計は過去最大
302億5千万円を可決。
特別会計・公営企業会計と合わせて
527億340万円。

2月定例市議会

2月定例市議会を2月28日から3月23日までの24日間の会期で開きました。

一般会計の主な内容は、次のとおりです。

平成30年7月豪雨災害関連

細は被災者見守り・相談支援に約540万円、災害弔慰金に約750万円、被災者応援家賃助成金に約770万円、被災地区防災拠点施設補助金に100万円、福谷地区農地復興造成工事に1500万円、小中学校体育館バリアフリートイレ整備に2190万円）

福祉王国プログラムとして

ヤングケアラー支援に約370万円、子ども虐待ゼロに約470万円、障がい者支援に約2140万円、高齢者支援に約1380万円、引きこもり支援に約470万円、待機児ゼロに約1億6800万円（総社小放課後児童クラブ移転費含む）、そして新型コロナウイルス感染症対策に4億3800万円。

子育て支援給付金として約1億1千万円。（令和3年度子育て世帯臨時特別給付金で所得制限により対象外となつた高校3年生までに一人10万円。令和4年度に生まれた新生児一人10万円）

新庁舎建設事業として約30億円。（建設工事前払い相当分として約29億。来庁舎仮駐

車場整備に1200万円）
雪舟くん車両更新として4800万円。雪舟くん運行委託料として6400万円。

南北道整備として2億490万円。（刑部三須線、神在秦本線など）

市役所南側の市道（中央一丁目支線3045号外6線）の改良事業で令和4年度に概略設計を行う予算として1500万円。（総事業費7億8500万円）

副市長に中島邦夫氏を選任することに同意しました。

教育委員会委員1名の任期が令和4年5月11日で満了することに伴い、児嶋塊太郎氏を引き続き委員として任命することに同意しました。

また、人権擁護委員1名の任期が令和4年6月30日で満了することに伴い、福元艶子氏を引き続き推薦することに同意しました。

副市長に中島邦夫氏を選任することに同意しました。

同意しました。

「インボイス制度の導入中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書」については、不採択とすることと決定しました。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、恒久平和を求める決議を全会一致で可決しました。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

【令和4年1月～3月分】

（単位：円）

Table with 4 columns: 支出区分, 支出年月日, 支出金額, 支出先等. Row 1: 4月からの累計, -, 25,000, -

令和4年2月定例市議会 付議事件採決一覧表

Table with 3 columns: 番号, 件名, 結果. Lists 30 items including budget amendments and resolutions.

令和4年2月定例市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table with columns for 議員名 and 議案等. Shows voting status for various proposals.

【凡例】○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席 ・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・ 村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。



山田 雅徳

問 認知症行方不明者を見守る「SOSシステム」の状況はどうか。

市長 本人登録は133名、協力登録は1212名が登録している。これまで16回発信。公式LINE(1万8千人登録)と連携して取り組みたい。

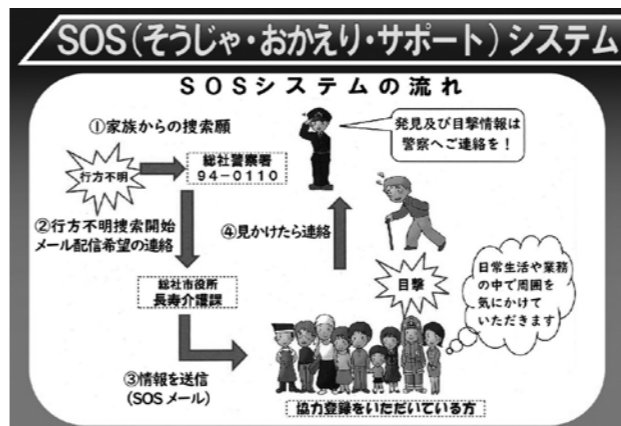
問 本市の認知症高齢者の実態と今後の予測はどうか

答 現在2284人を把握、3年後は4千人と推計される

問 早期捜索・発見、捜索協力者の負担軽減のためにもGPS機器は有効ではないか。

消防長 GPS機器の活用は非常に有効だと考える。

市長 SOSシステムにあわせてGPS機器を活用し、捜索活動をプラスに進めたい。



総社市認知症見守りGPS購入費等助成事業
現在地を確認できるGPS専用端末の購入初期費用を最大3万円助成
GPS専用端末の装着例 行方不明時の対応イメージ



三宅 啓介

問 ネットリテラシー教育について

答 学校貸与のパソコンのトラブルはあるか。また、その対応はどうしているか。

教育長 会員制動画サイトに登録し閲覧可能にしていた、画面上に広告表示がされる、クラス掲示板に不適切な書き込みをしたなど、7件のトラブル報告を受けている。全てのパソコンにフィルタリングなどの設定をしているが、すり抜けることがあり、その都度設定し直し対応している。

問 ネットリテラシー教育に力を入れるべきだがどうか。

教育長 令和4年度に市内の学校でのデジタル活用体系表を作り、その中でネットリテラシー教育について具体的に

問 学校貸与のパソコンでトラブルはあったか

答 現在までに7件のトラブル報告を受けている

問 パソコンの利活用による学習保障はできているか。

教育長 オンライン授業などの学習支援や授業のライブ配信など行っているが、今後はオンライン学習指導の精度をより上げていきたい。

事業所支援について

問 岡山県が飲食店向けに第三者認証制度を行っているが、本市も認証店PRなど支援をすべきと考えるがどうか。

市長 市内35店舗が認証を受けているが、感染予防の観点からも認証店であることを知らしめることは良いことであり、本市として支援していく。



萱野 哲也

問 昨年11月定例市議会で議案77号(通学路における児童等の安全確保に関する条例の制定について)が否決されたが、今後見舞金条例を提案しないのか。

市長 議会との関係があるので提案を差し控える。

問 2月の総務生活委員会では起案者(見舞金条例の提案予定議員)から「執行部は今回の交通事故を機に条例を作りたい」と答弁があったが、執行部はどのような発言があったのか。

市民生活部長 議員との会話の中で発言はあったが、個人的な見解である。

問 市長は市民生活部長の答弁を聞いてどうか。

市長 提案するつもりはない。

問 議案77号の議会の否決をどう感じているか

答 あの交通事故の家族を助けてあげたい気持ちだった

問 起案者(議員)が見舞金条例を提案しようとしているが、市長の考えはどうか。

市長 コメントは差し控える。議員提案の条例が可決されれば、予算はどうするのか。

市長 動かざるを得ない。予算を伴う条例案を議員が提案することは、市長の領域を侵していると考えがどうか。

市長 議会との関係でいかなものかと思う。

問 市長提案の条例案は11月の交通事故の被害者に見舞金を出せるよう遡及するものであったが、議員提案の見舞金条例案は遡及するものではない。市長の思いはどうか。

市長 その案は、初めて聞いた。コメントは差し控える。



山名 正晃

問 市内の公園施設について、市長はどのような思いを持っているのか。

市長 市が管理する公園は市内に65箇所あり、市民の福利厚生、福祉向上、憩いの場であり大事な拠点施設である。公園は街の品格が表れる場所でもあるので大切に考えている。最も注意すべきことは、遊具などの安全性を保ち続けていくことである。

問 総社市公園施設長寿寿命化計画についての概要、進捗状況はどうか。また危険性があり、使用禁止になっている公園遊具はあるのか。

建設部長 長寿寿命化計画は市内の公園遊具・施設の老朽化している設備を国の交付金(補助率50%)を活用し、補

問 公園遊具・設備への寄付・寄贈を募ってはどうか

答 市民や子ども達のためにも寄付・寄贈を募っていききたい

修・更新等を行っていくものである。令和3年度に健全度調査を行ったところ、市内の全公園にある275機の遊具のうち、26機が緊急的に補修を要するが、使用停止には至っていない。令和4年度に26機の補修・更新を行っていく。

問 計画に合わせ、障がいのある無を問わないインクルーシブ遊具・健康遊具への取替えやトイレの整備を行ってはどうか。

市長 何らかの理由で普通の遊具で遊べない子供へ寄り添っていかねばならないと考えている。具体的なことは今後検討していきたい。健康遊具やトイレのバリアフリー化についても財政状況を考慮しながら進めていきたい。



頓宮美津子

問 電子町内会の導入に向けて、十分な理解が得られるよう懇切丁寧な説明とともに、わかりやすい仕組みづくりが必要だがどうか。

市長 導入を進めて行く上で、高齢者の多い地区などは時間をかけてゆっくり対応していく必要がある。

問 特別支援教育におけるIT教育は、子ども一人ひとりの個性と能力を最大限に伸ばす効果があると考えられる。また学校間での差異が生じるのも好ましくない。モデル校を定めて進めて行っているのか。

教育長 このコロナ禍において、IT教育の活用が求められている。特別支援教育において、十分な効果があることは承知している。通常学級同

問 災害対応・連絡ツールとしての電子町内会の導入を時代の流れでするしかないと考えている

答 様、今後は特別支援学級においてもモデル校を定めるなど研究し、市全体として差異の無いよう進めていきたい。

問 児童虐待防止の取組について

市長 本市には、「子どもを虐待から守る条例」があり、赤ちゃん訪問も100%と子育てにおいては、保健師を始め職員への対応が素晴らしい。さらに、子どもへの虐待とDVの関連性から考えても妊娠期からの様々な方面からのサポートが必要と考える。そこで総社流のフェムテック事業(女性の健康の課題解決のためのサービス)に助産師の力を借りて取り組んでほしい。

市長 決して子どもへの虐待は認められるものではない。検討していきたい。



剣持 堅吾

問 10年前からライフワークとして美術博物館問題を質問してきた。市長の見解はどうか。

市長 新庁舎建設後に、美術博物館を建設していくという考えにいささかの違いもない。実行に変えていきたい。

問 平成25年に市議会では、美術博物館建設の早期実現を求める決議を議決した。また、市文化芸術会議の答申でも、早期に整備するべきとされている。経過をどう受け止めているか。

市長 重く受け止めている。施設の内容は、今後、議論していきたい。

問 具体的な体制作りはどうか。

市長 新庁舎建設後の令和7

問 美術博物館建設プロジェクトチームの設置はどうか

答 令和7年を目途にチームを設置する

問 平成17年の合併以後も山手及び清音地域では人口が増えている。また市内の救急出動件数の増加や頻発する自然災害、あらゆる有事を想定して、消防署出張所を早期新設する考えはどうか。

市長 建設していく方向で検討していく。



森 安 健 一

問 空き家の問題を長年対策しているが、現在の状況をどう認識しているのか。

市長 現在、本市に1200軒程度の空き家がある中、私は全国空き家対策推進協議会会長も勤めておりますが、本市ではリフォーム助成金、そうじゃ商人応援事業補助金制度などを活用し、空き家をスムーズに第三者に移行できる仕組みを作り、そうじゃ空き家百選を基に使える空き家をうめていく政策をしていく。

問 空き家を購入した後、リフォームを考えるにあたり、リフォーム助成金の見直しを行っているかどうか。

市長 助成金で空き家が埋まっていくのであれば、今後の対策として検討していく。

問 空き家対策としてリフォーム助成金の見直しはどうか

答 解決策として今後の検討課題として考えていく

問 本市の農業について現状と課題をどう捉えているのか。

市長 現在、農業者の高齢化により担い手が減少している中、今後の農業問題をどう捉えているのか。

市長 高齢化による農業者担い手対策として地食べ公社を利用し、大規模耕作者の輪旋機能を活用し検討していく。

問 耕作放棄地問題の現状をどう思うか。

市長 耕作放棄地を第三者に譲渡し、大規模耕作、農地バンクを使って解決したい。

問 耕作放棄地を水田以外に活用してはどうか。

市長 農地プランの中に盛り込まれる策として特定高収益作物を代行させ、モデル地区を設定し転換を図り検討する。



溝 手 宣 良

問 防災計画について

問 避難所に指定されている阿曾小学校の体育館の屋根に激しく錆が浮いているが、安全性はどうか。

市長 今後補修を検討する。

問 種井地区の安全性は向上したのか。

市長 下流域の諸工事等で約50cm水位が下がると国交省から回答をもらっている。しかし、築堤や嵩上げの計画に種井地区が入っていないので、強く国・県へ要望していく。

問 定住促進について

市長 農地付き空き家の売買にあたり、農地取得条件に柔軟性を持たせ、他県や他市からの移住や定住の促進につなげられないか。

市長 農業委員会とも連携し、

問 多文化共生について市長の思いはどうか

答 外国人市民も同じ総社市民と思っっている

問 農地取得条件の下限面積の引下げをお願いしていきたい。

環境整備について
問 水路清掃や路肩の草刈りの今後をどう考えているか。

市長 地域から第三者へと状況に応じてシフトしていく。補償も高額にしていく。

多文化共生について
問 外国人技能実習生の交通ルールに関する認識はどうか。

市長 交通安全教室を実施している。これは我々の義務だと捉えている。

問 他市では技能実習生への暴行も発覚したが、そうした相談受付体制はどうか。

市長 外国人全般に対する相談受付を3人体制で実施している。外国人労働者ではなく同じ総社市民だと思っっている。



岡崎 亨一

問 5歳から11歳がコロナワクチンを接種する医療機関は4小児医療機関を含む8医療機関での接種となっている

答 等に販売競争できるように商品中古軽自動車税免除を行う考えはないか。

市長 課税免除していく。行政手続の電子化について

問 軽自動車継続検査用証明書について、令和5年1月からの電子化スケジュールはどうか。

市長 令和4年度にシステム改修し、しっかり準備する。

若者支援について

問 結婚支援事業の検討状況はどうか。

市長 結婚支援、子育て支援に力を入れていきたい。

災害時避難について

問 広域一時滞在の周辺自治体との協議状況はどうか。

市長 決めないといけない。以後の課題として取り組む。



熊進 仁

問 今、子どもたちへの感染状況はどうなっているか。

保健福祉部長 1月からの学校園・関係者の感染者は延べ309名いる。

問 子どもへの感染経路は特定できるか。

保健福祉部長 学校内での感染は見られるものの限定的であり、多くは大人から子どもに感染したと考えられるが、一部学校でも広がっている。

問 保護者への対応の周知はしているのか。

教育長 陽性者の最終登校日から4日間の学級閉鎖を行っている、詳細は様々なケースを表にした文書を、教育委員会から各学校を通じて家庭に配布している。

問 子どもが自宅待機や療養

問 コロナ禍で生活が一変した子どもたちをどう思うか

答 ごめんなさいと申し訳ないの気持ちでいっぱいである

市長 両親が休業した場合、市で助成制度は設定しているか。

市長 市が単独では行っていない。厚労省が行っている制度をしっかりと紹介していく。

問 厚労省は大企業と中小企業では給付金に差をつけている。この差を埋める施策を考えられないか。

市長 差があつて良いわけではないので考えたい。

補聴器購入費用の補助について

問 認知症の35%は難聴が原因だと言われている。高額な補聴器の購入に補助はできないか。

市長 口の動きで理解していた難聴の方にとって本当に大変な時代であると思う。様々な助成制度を作ってきたが、抜けている所は検討していく。



深見 昌宏

問 市街化区域の線引きを変えられないか。

市長 昭和46年に線引きされた面積は変わっていないので、本市として伸ばしていかねければならない部分に関しては、国や県に強く要望していきたいと思う。

問 空洞化する市街化区域はどう対応するのか。

市長 立地適正化計画の中で市街地をどのように埋めていくか官民一体となって市街化区域の穴埋めをやっていきたい。

問 市街化調整区域の対策はどのようにするのか。

市長 県大前、服部駅周辺、東総社中原線付近は地区計画を策定し、今後2年間でできる限り頑張っていきたい。

問 50戸連たん制度厳格化に本市の対応はどうするのか

答 本市として新たな手立てを考えていかねばならない

問 農業政策について農家の現状はどうか。

市長 全農家の81%を占める水稲作は大変苦勞されている。高齢化、人材不足そして営農組合も高齢化、事務問題、リーダー不足、機械購入のための資金不足など問題は多岐に渡っている。

問 そうじゃ地食べ公社の現状はどうか。

市長 社員4人体制でやっている。今後も代行耕作をしつかりやる方向で頑張りたい。

問 総社の農業の未来のための対策はどうするか。

市長 我々が本当に見ていかねばならないのは苦戦している水稲をどのように下支えしていかねばならないかビジョンで示していきたい。



小西 利一

問 登下校の安全は確保できているのか。

教育長 各地区の交通指導員、ボランティアによる見守り隊の助けを借り、十分とは言えないが安全の確保に努めている。また歩得サービスのポイントを付与することによって、より多くの方に協力してもらえるようにしていく。

問 児童、生徒、学生のルール、マナーの教育はできているのか。

教育長 ハンドブックの作成により保育所、幼稚園、小学校に出向き、交通事故防止の教育を徹底していく。

問 市民のルール、マナーは向上していると思われるか。

市長 岡山県民のマナーが悪

問 交通事故防止対策はどうか

答 ハード面は順調に整備が進んでいる

市長 市民のマナーは、少し改善してきていると感じている。

問 市の職員が率先垂範して交通ルール、マナーの向上に取り組む必要があるのではないか。

市長 目標を決めて取り組んでいきたい。

デジタル化推進について

問 マイナンバーカードの普及は進んでいるのか。

市長 2月末時点で普及率は36・3%である。他市に比べ少ないので、これからもっと普及に努めていきたい。

問 書かない窓口の導入を考えてはどうか。

市長 デジタル化は日進月歩進んでいるので、新庁舎の完成を待たずともなく出来ることから導入していく。



荒木将之介

問 日々の買物にも苦勞するいわゆる買物弱者の方が増えている現状をどう考えているか。

市長 人口減少地域に光を当てていくという施策の中で、買物難民の問題は本市の新しい課題である。

問 民間の業者で賄えない部分をフォローするのが行政の役割だと考えるがどうか。

市長 交通手段、介護保険制度の利用、福祉系サービスなど、できることはやっていく。できれば店舗の誘致を助長することが大事である。

問 採算が合わなければ誘致に手は上がらないと思うが、市の予算を投じていく考えはあるか。

市長 投じていかなければなら

問 買物弱者救済のために予算を投じる考えはあるか

答 投じていかななくてはならない時代がくると思う

らない時代が来ると思う。願わくば地域の方に立ち上がって欲しいが、それも難しいようであれば、公費投入についても考えなければならぬ。

問 移動手段を持たない方にとって移動スーパ―はまさに命綱だが、過疎化が進めば効率の問題から訪問できない地域が生まれる可能性もある。いずれにしても継続的な支援が必要となるが、その考えはあるか。

市長 市民の買物環境がまったく途絶えてしまうというようなことがあった場合、ランニングコストも含めた予算の投入は、検討していく大いなる課題である。



高谷幸男

問 製造業、飲食業、サービス業などの中小企業は、新型コロナウイルスにより、厳しい経営と

思うが把握しているのか。

問 国の自動車関係補助制度の情報各企業に早く知らせたいがどうか。

市長 各省庁の情報をできるだけ早く入手し連絡したい。

まちづくりについて

産業部長 全業種で影響があり、コロナ前に戻っていない。自動車関連企業などは、生産減とともに人員確保も困難であり、さらに資材の高騰と合わせて苦慮している。

問 中小企業の代表者連絡会議を設置し、企業ニーズの把握が大切と思うがどうか。

市長 同様の会議を開催しており、今後も開催したい。

問 企業の人手不足を解消するため、就職機会の更なる説明会は開催できないか。

市長 積極的に開催したい。

問 厳しい環境の中で中小企業への支援は何かできないか

答 国の地方創生臨時交付金の中で支援を考えたい

問 国の自動車関係補助制度の情報各企業に早く知らせたいがどうか。

市長 各省庁の情報をできるだけ早く入手し連絡したい。

まちづくりについて

問 本市の玄関口である総社駅前及び駅周辺が寂しいと言われて久しいが、具体的な活性化計画はどう進めるのか。

市長 民間活力が是非必要であるとともに、人口増加も条件の一つでもある。

問 策定済みの立地適正化計画ではこの地の状況はどうか。

市長 都市機能の集約など活性化に努めることとしている。

問 今後の計画策定はどうか。

市長 商工会議所、金融機関、不動産関係を含めた民間活力をお願いしたいと考えている。

総務生活委員会

《2月定例会》

当委員会で審査した案件は、2月定例会では議案11件であり、全て原案どおり可決しました。

● 主な内容は次のとおりです。
● 総社市定住促進条例の一部改正について(議案第2号)

・人口減少地域に対する財源の効果的な活用に向け、施策の再構築を検討する中で、本条例の見直しが必要となったことから、定住促進助成の対象要件を改めるなど、関係条文の整備を行うとすることを

問 助成対象要件を令和4年3月31日までに移動した者としており、周知期間が短いように思われるが、どのように対応するのか。

答 移住定住等の相談があった方には、令和4年4月1日以降は対象とならない旨を伝えている。また、ホームページ

ジ等でも周知していきたい。

● 令和3年度総社市一般会計補正予算(第15号)(議案第16号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・事業費の確定による減額が主なもの

問 地方債の借入利率を3%以内としているが、どれくらい借りたのがどれくらい変わったのか、今はどれくらい金利で借りることができ

答 今年度は借入利率を1%程度と見込んでいたが、その多くは0.3%以内で借りることができた。国の財源で借り入れるもの、民間の銀行等で借り入れるもの、また借入額によって利率は変動する。

当初1.2%で借り入れたものが見直しによって、0.03%や0.04%になったものもあるが、利率は上昇傾向にあり、今後の動向をよく見極めていきたいと考えている。

一般会計予算審査特別委員会総務生活分科会

● 令和4年度一般会計予算(議案第22号)(所管部分)

問 雪舟くんの車両を新たに購入した場合、現在9台ある車両はどうするのか。

答 基本的には廃車を考えているが、走行距離や修繕状況等から3台程度は公用車として使用していきたいと考えている。旧車両も公用車として活用しているが、老朽化しており、修繕状況などを確認しながら順次廃車していきたいと考えている。

問 防災訓練を地域で開催していたが、今後実施する予定はないのか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、検討していきたい。

問 ふれあい通信経費の清音地区で使用しているアナログ式個別受信機の製造が終了しているところがあるが、今後はどうするのか。

答 以前にまとめて購入した残りや、返却されたものを配布しており、在庫が無くなれば終了する。

問 イメージキャラクター活用事業のカレンダー販売委託料は、どういったものか。

答 今までは、市役所、公民館、出張所だけの販売であったが、店舗などで販売してもらい、それに係る委託料を支払うためのものである。

問 デジタル化推進事業でスマートフォンやWebから質問に答えていくだけで必要な手続きがわかる市民向け案内サービスを計上しているが、どういったものか。

答 転入など住民票の異動がある場合にスマートフォンで関係する質問に回答することによって、必要な手続き、必要な書類などを確認することができるものである。導入した際は、ホームページにリンクを貼り、使用できるようにする予定である。

文教福祉委員会

《2月定例会》

当委員会では審査した案件は、2月定例会では議案13件であり、すべて原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第15号)(議案第16号)

《補正予算の主な内容》

・事業費の確定による減額が主なもの

【問】文化センターの工事請負費が大幅に減額となっているが、理由は何か。

【答】総合文化センター特定天井耐震改修工事は、令和3年度から令和4年度にかけて債務負担行為で事業を実施している。当初の段階では市民会館ロビーの天井部分まで実施予定であったが、ロビーの天井は特定天井に該当しないことから設計から除いたこと、また機械設備工事の前金払分

が不要となったことから減額になったものである。

【問】繰越明許費の通学路整備事業で、通学路の要望に対して、各課が連携して事業が行っているのか。

【答】子どものために実施する事業であり、どの部署によせられた要望であっても真摯に検討できる体制をとっていきたいと考えている。

- 令和4年度 総社市介護保険特別会計予算(議案第25号)

【問】位置情報端末装置導入助成金にGPS専用端末の付属品も対象にすることだが、いつから運用を開始するのか。

【答】早急に要綱を改正し、来年度当初から開始したいと考えている。

【問】晴れやかネット利用負担金について、かなりの方が利用をやめている中でメリットがないのではないかと。

【答】対面でのやりとりが非常に難しくなる中で、オンライン

ンでのやりとりができる点からも、このツールは大事だと考えている。介護事業所の利用が有料になったことの影響が大きかったと考えており、そういったところをどう加味しながら、後押しできるかというのを引き続き検討していきたい。

【問】ヤングケアラー等支援事業についてどのような活動を行うのか。

【答】ヤングケアラーコーディネーターを配置し、ヤングケアラー家庭との個別の相談や関係機関等の連絡調整を行う予定である。また、支援が必要な家庭を訪問し、家庭に合った家事支援等を行い、養育環境を整えていこうと考えている。

【問】私立保育所助成事業で、保育士等処遇改善臨時特例事

業補助金が4月から9月分まで計上されているが、それ以降はどうなるのか。

【答】4月から9月までは国庫補助事業として実施をするが、10月以降については、私立保育所運営委託料に含める形で継続することとなっている。

産業建設委員会

《2月定例会》

当委員会では審査した案件は、2月定例会では議案10件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第15号)(議案第16号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・事業費の確定による減額が主なもの

【問】国府川下流には県の自然保護団体からも注目される魚がいる。どの辺りをどのような工事をするのか。

【答】現在、180号バイパス下流付近まで完成している。計画区間は、JR桃太郎線まで、そこまで河川改修をやっていく。国府川には、スイングゼニタナゴの生息が確認されているので、学識経験者の助言をいただきながら、環境に配慮した工法で工事を

やっている。バイパスより上流については、地元からの要望に基づき、浚渫や脆弱な護岸を修繕していくことになっている。

- 令和4年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算(議案第26号)

【問】早急に国民宿舎サンロード吉備路をどのようにしていくのか、しっかり考えるべきではないか。

【答】道の駅構想や宿泊専用浴室の新設、客室の増室などの投資と需要予測を踏まえ、本市の観光拠点施設としてふさわしいものとなるよう基本計画・設計を策定する中でしっかりと考えていきたい。

- 令和4年度総社市工業用水道事業会計予算(議案第28号)

【問】配水、給水施設維持管理費等が、去年に比べ倍近くに上がっているのはなぜか。

【答】施設が老朽化し、耐用年数もあり、維持管理の費用が

多くなっている。

- 令和4年度 総社市下水道事業会計予算(議案第29号)

【問】今後の集落排水事業の新規計画はあるか。合併浄化槽の補助金をもらっても数年後に集落排水事業が行われたりすると補助金が無駄になるので、市の事業計画をもっと市民に知らせてはどうか。

【答】新規の事業開始は予定していない。管きよ工事の際には地元への周知等を引き続き行っていきたい。

- 一般会計予算審査特別委員会 会産業建設分科会

- ◎ 令和4年度 一般会計予算(議案第22号)(所管部分)

【問】ジャンボタニシの防除対策補助金は例年早急に終わってしまうが、増額はできないか。

【答】来年度は今年度の2倍に増額しているが、今後の被害状況を見て対応していきたい。

【問】そうじゃのお米支援補助金はどういったものか。

業補助金が4月から9月分まで計上されているが、それ以降はどうなるのか。

【答】4月から9月までは国庫補助事業として実施をするが、10月以降については、私立保育所運営委託料に含める形で継続することとなっている。

- 【問】通学路における防犯カメラは来年度何台設置予定か。

【答】来年度は4台設置予定である。令和2年度から県の補助金を活用して3箇年計画で整備しており、来年度ですべての小学校区に設置できる予定である。

【問】学び直し教室の講師謝礼で6人分計上しているが、講師はどのような方を想定しているのか。

【答】指導する講師は、中学生を教えられる元教員らを中心に考えており、国語、数学、英語の教科の講座を考えているが募集時に希望は聞きたい。

【答】支払先はそうじゃ地食べ公社で、ふるさと納税を含めた本市の水稲作を支援するための補助金である。

【問】都市公園遊具の更新の際や新しくできる公園の遊具について、地域の要望を聞くことはできないか。

【答】公園遊具の更新や設置の際には、インクルーシブ遊具や健康遊具などどのような遊具が良いかも含め、地域の要望も聞いていきたい。

【問】埋蔵文化財学習の館の利用状況はどうか。また、学校等の校外学習などの利用も働きかけてはどうか。

【答】令和3年度の来館者数は644名だった。今後も多くの方に利用していただければ、周知していく。当館は、子どもたちが地元の文化財を知る貴重な場なので、学校の校外学習で利用するように働きかけていきたい。

復興に向けて・その軌跡 (vol.12)

ハードからソフトへ、人と人の絆

今年もまた梅雨の時期を迎えます。近年は「異常気象」とは言われなくなりまし。以前は、異常と言われていたことが毎年続くことよって、異常が異常で無くなったからだと言われています。

そして総社市にとって、決して忘れてはならない7月6日がやってきました。

今年2月にNHKで制作された「地域で防災UP!西日本豪雨逃げ遅れゼロ」が全国放送されました。下原・砂古地区における自主防災活動をドラマ風に紹介する内容でした。御覧になり、当時に改めて思い出された方もいらつしやると思います。私も昨年、広聴広報委員会取材した際の昭和地区の浅沼弘さ

んの「自助・近所・公助」という言葉を思い出しました。いかに隣さんが大切か改めて考えさせられました。

まもなく災害から4年が経過します。高梁川を上流から下流まで見回すと大規模な浚渫や築堤工事が進んでいます。一日も早い完成を願います。

また平成30年西日本豪雨災害で特に大きな被害を受けた地区の拠点施設が完成しています。昭和地区では、憩いの場として西部地域にあった仮設住宅の材料の一部を活用した大國屋がオープンしました。これからは、こうした施設が近所の人々の深い絆を結び付ける憩いの場となればと思います。

(三上周治)



みなぎの里 大國屋



草田集会所



下原公会堂

編集後記

私にとって初めての2月定例市議会(来年度予算審議など)も無事に終わりましたが、すっかり春めいて来ましたが、世の中は新型コロナウイルス感染症の蔓延やロシアのウクライナ軍事侵攻など、まだまだ寒い雪国のようなです。

一日も早い雪解けが大変待ち遠しく、世界中が平和で安心して過ごせる日常に戻りますよう節に願います。

(小野耕作)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 山口 久子
- 副委員長 小野 耕作
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 荒木将之介
- 委員 三上 周治
- 委員 岡崎 亨一